



平成22年7月23日

各位

会社名 日機装株式会社
代表者名 代表取締役社長 甲斐敏彦
(コード番号6376 東証第1部)
問合せ先 経営企画部 リーダー 後藤直人
(TEL. 03-3443-3717)

フレゼニウスメディカルケアジャパン社からの透析製品販売事業委譲と
当社の韓国における事業譲渡に関するお知らせ

日機装株式会社（以下「日機装」）とフレゼニウスメディカルケア社（以下「フレゼニウス社」）は、フレゼニウスメディカルケアジャパン社（以下「フレゼニウス・ジャパン社」）による日本における透析関連製品の販売事業の日機装への委譲に合意いたしました。また、日機装は、韓国における全額出資の透析関連製品販売会社、Nikkiso Medical Korea Co.,Ltd.（以下「NMK社」）の全株式をフレゼニウス社に譲渡することといたしました。

1. フレゼニウス・ジャパン社による透析関連製品販売事業部門委譲の概要

日機装の主力事業は工業部門と医療部門とから構成されます。医療部門では日本で最初に人工腎臓装置を導入し、現在では人工腎臓装置で国内最大のシェアを持ち、また独自に開発した PEPA 膜を使用したダイアライザー、血液チューブ、透析用剤など、透析事業の総合メーカーとして事業展開しています。

フレゼニウス社はドイツに本社を置く世界最大の人工透析関連企業グループであり、フレゼニウス・ジャパン社はその日本法人です。

今回の合意に基づき、フレゼニウス・ジャパン社は、日本における血液透析関連のダイアライザー販売事業部門を全面的に日機装に委譲します。日機装は、日機装独自ブランドである PEPA 膜ダイアライザーに加え、フレゼニウス社からポリスルホン膜ダイアライザーの供給を受けることによりダイアライザー製品のラインアップをさらに拡充し、お客さまの高い信頼と広範な販売ネットワークを活用して人工透析関連の消耗品ビジネスを強化していく方針です。なお、日機装はフレゼニウス・ジャパン社の日本で稼働中の透析装置の保守・管理等の業務を引き継ぎます。

また、フレゼニウス・ジャパン社は日本での腹膜透析販売事業部門についても日機装に委譲し、日機装はこれまで推進してきた在宅血液透析事業とあわせてさらなる展開を図ります。

なお、フレゼニウス・ジャパン社の主要代理店である扶桑薬品工業株式会社を始めとする既存取引先とお客さまとの関係については従来通りとし、日機装はこれを引き継ぎ、今後、両社協力してお客さまへの対応に万全を尽くします。

今後フレゼニウス・ジャパン社は、日本においては透析製品の製造・開発および輸入に経営資源を集中していきます。

これにより両社は、血液透析、腹膜透析を包括する総合的な透析医療に貢献いたします。

2. 日機装の韓国における透析関連事業の譲渡

なお、上記とあわせて、日機装は韓国における透析関連販売事業を担う「NMK社」をフレゼニウス社に譲渡します。これに伴い、日機装は韓国における透析関連事業を停止いたします。

3. 日 程

事業の一部譲受けおよび子会社の異動 平成 22 年 8 月以降（予定）

4. 今後の見通し

上記 1 および 2 の事項に伴い当社は、当面、フレゼニウス・ジャパン社の日本におけるダイアライザーの売上実績に加え、当社販売網を通じての純増を見込んでいます。平成 23 年 3 月期については、まだ当社の連結業績へ与える影響は軽微と予測していますが、今後、腹膜透析製品も含めた販売体制の整備を早急に進め、さらなる売上の増加に繋げていく予定です。

（ご参考）

*フレゼニウス社の概要

フレゼニウス社はドイツに本社を置く世界最大の人工透析関連企業グループ。世界 115 カ国以上で事業を展開し、血液透析装置、ダイアライザー、血液回路、透析液、腹膜透析製品などの製造・販売、および透析クリニックの運営を行っている。2009 年の売上は USD 11,247 Million（約 1 兆円）。

フレゼニウス・ジャパン社は、フレゼニウス社の日本法人で平成 5 年 10 月設立。

*ダイアライザー

血液から腎機能の異常や腎不全のために蓄積した不要物質を取り除くために用いる。現在使われているものは、中空糸型が広く使われています。

以 上